

# 水友だより

横浜市水友会  
横浜市保土ヶ谷区  
宮田町一―五―七  
発行責任者 石井栄一  
Tel 442-6954

## 2023年度事業計画及び、会計予算決まる 第40回理事会及び第18回臨時総会に於いて

横浜市水友会の2023年度事業計画並びに会計予算は、第40回理事会及び第18回臨時総会に於いて左記のとおり承認されました。

### 1. 2023 (令和5) 年度の

受託事業について  
①断水広報業務 ②配水管定期洗浄業務 ③漏水調査業務の三業務について、受託事業として責任ある業務として展開してまいります。

## 第19回通常総会

### 多くの皆様のご参加を お待ちしております

一般社団法人横浜市水友会の第19回通常総会は、5月31日(水)午前10時から横浜水道会館で行われます。

総会では、左記の議題の承認をいただくことになっていきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。  
日時 2023年5月31日(水)午前10時  
場所 横浜水道会館 大会議室  
議題

- (1) 2023年度活動方針
- (2) 2022年度会計決算報告
- (3) 2022年度会計決算監査報告
- (4) その他

なお、漏水調査業務については落札できず、水道テクノカールサービスの一部地域を受託して業務を遂行してまいります。

### ① 断水広報事業

年度により年間業務数の変動もありますが、広報業務としての断水放送及び断水チラシ配布事業を堅実に履行してまいります。

### ② 配水管定期洗浄業務

洗浄業務は、宅地等の状況変化等によって業務の変動はありますが、水道局との連携を密にしなから、職員時代に培ってきた専門的な知識と経験を活かし、受託事業をすすめてまいります。

### ③ 漏水調査作業業務

今年度は落札できず、同業者(磯子・青葉・栄区)からの一部地域を請負受託業務として、引き続き熟知した経験者により、着実に業務を展開してまいります。

### ④ その他

高齢化社会の中で、労働意欲を持たれる水友会会員も増えてきており、今年度において

ても、水道局OBとして個々の技術経験を活かせる業務依頼があれば、事務局として検討しながら積極的に協力できるような対応してまいります。

## 2. 各種専門部会等の活動について

新型コロナウイルス感染症対策により、一部趣味の会では、年間の活動も停滞せざるを得ない状況が続いてきましたが、感染症対策も緩和されており、今後の動向も注視しながら、活発な活動交流が図れるよう、各種専門部会や趣味の会と事務局との連携を強め、会員交流事業の充実に努めてまいります。

## 3. 会員活動の具体化について

2023年は、「新春の集い」の開催で、ようやく水友会活動のスタートを切ることができました。今後、コロナウイルスによる社会状況の変化により、やむを得ず活動が停滞するかもしれませんが、年間活動計画に沿って会員の親睦と交流を深める各種行事を積極的にすすめてまいります。

また、各趣味の会の活動に対し積極的な助成を行い、多くの会員が集える魅力溢れる会の発展をめざし、左記のとおり活動の具体化を図ってまいります。

① 会員の近況や身近な話題を掲載し、自宅で待ち望まれる機関誌「すいゆう」「水友だより」を発行します。

② 高齢者が抱える身近な課題や政治情勢等、会員が集える時期などを判断しながら「学習会」を、総会等と抱き合わせながら開催して行きます。

③ 地域居住者の交流の場である県央、横須賀・三浦、横浜西部居住者会の年間行事の定着と、各居住者会地域での新規会員の参加の働きかけを、事務局との連携を強め対応を図ってまいります。また、地域交流の年間行事への参加にあたり、事務局と地域役員との連携を深め、広く会員交流の場にもなるよう発信を強めてまいります。

④ 女性組織の「すみれ会」の活動について、引き続き、会員相互での呼び掛けを強めながら、多くの女性退職者が参加しやすい「学習会」テーマを設ける会員拡大に向けた取り組みとして、事務局と連携しながら対応を図ってまいります。

⑤ 新規会員交流事業(趣味の会)として、会員から、土と触れ合い、収穫を楽しみ、子

【2面へ続く】

や孫と自然を満喫する「田んぼの会」の発足が提起されており、新たな「趣味の会」の具体化に向けた対応をすすめてまいります。

#### 4. 組織拡大の取り組み

定年制の延長が施行されるなど、高齢退職制度は年々変化してきており、定年退職者がこぞって入会してきた時代は終わりを告げ、会員数は年々減少傾向となっています。

このように、定年制の延長や70歳前後まで就業できる職場が確保される雇用環境の下で、組織拡大に向けての良薬も無く、組織継承という課題に向き合わなければならぬ現状にあるといっても過言ではありませんが、退職した後の残りの人生を多くの仲間と楽しく過ごせる貴重な組織財産として、現・退との連携を図りながら、定年退職者及び再任用退職者等に対する入会の働きかけを強めてまいります。

### 麻雀班

## 第5回大会 芦沢春樹氏

### 12年ぶり2度目の優勝

水友会麻雀班第5回大会は、1月28日に関内「緑の館」で20人が参加して親睦・交流の楽しい1日を過ごしました。

最終結果は、1組目の闘いで芦沢氏が他を押さえて2万5千点のトップで、計8万6千点で逃げ切り、12年ぶり2度目の優勝となりました。準優勝は2組目で2万5千点のトップとなった加藤氏が計5万7千点入り、3位は馬場氏がプラス5千点と頑張り、計5万3千点で入賞しました。4位は伊東氏、5位は廣瀬純一氏という結果となりました。

| 順位  | 氏名    | 得点     |
|-----|-------|--------|
| 優勝  | 芦沢 春樹 | 85,900 |
| 準優勝 | 加藤 彰  | 57,400 |
| 第3位 | 馬場宇平衛 | 52,500 |
| 第4位 | 伊東 信一 | 35,100 |
| 第5位 | 廣瀬 純一 | 34,300 |

| 順位 | 氏名    | 得点      |
|----|-------|---------|
| 1位 | 馬場宇平衛 | 239,400 |
| 2位 | 栗原 雄三 | 196,900 |
| 3位 | 會澤 賢治 | 168,400 |
| 4位 | 芦沢 春樹 | 132,300 |
| 5位 | 藤井 彰  | 115,900 |

### 第5回大会

### 年間成績

年間成績の1位は、優勝1回と全ての大会で上

位に食い込んでいる馬場氏が23万9千点、2位は優勝2回の栗原雄三氏が19万7千点で、トップとの差は4万2千点。3位は準優勝2回の會澤賢治氏16万9千点、4位は今回優勝し出場した3大会はプラスとなっている芦沢氏13万2千点、5位・藤井彰氏11万6千点となっています。優勝争いは上位2人が有利です。

### 遊 YOU 乗り鉄2人旅 (高崎・信越本線編)

私の周りには撮り鉄の方が多く、撮り鉄でも、数多くの分野があるそう、撮る方、駅を撮る方、車窓から見る景色を撮る方など様々な方がいるそうです。一例を紹介しますと、京急線72駅の全駅の駅表示板を始め、JR、各私鉄を路線別にまとめている方の話を聞き、時間と体力が必要だと感じました。

そして、チャレンジ第4弾として、高崎・信越本線各駅停車2人旅(目的地直江津)を紹介します。

乗車当日に大船駅で待ち合わせをして、出発地点のJR上野駅に向け出発、上野発9時56分の高崎行きに乗車、

が、まだ予断は許せません。また、3位入賞を巡る争いも熾烈なものとなってきます。厳しい最終戦で誰が入賞を果たすのか、こころ期待。

☆優勝・芦沢春樹氏。最後はだめと思ったが、リーチ棒が入りトップ。忘れていた優勝嬉しいです。これからも宜しく。



グリーン車内でいつものとおりビールで乾杯、高崎で乗り換え、横川行きに乗車、13時頃に横川に到着、ここからは廃線区間なので、JRバスに乗り換え軽井沢に到着、軽井沢からは、しなの鉄道で長野行きに乗車、長野駅で乗り換え、妙高高原行きに乗車し18時頃に到着、ここからは、えちごトキめき鉄道で直江津行きに乗車、直江津駅には19時過ぎに到着しました。

宿泊するホテルに荷物を預け、思い出のある小料理屋を探しながら、近くの居酒屋で反省会、翌日は、妙高高原駅から北陸新幹線グリーン車で東京駅を経由し、待ち合わせ場所の大船に着、再度反省会を行い、22時過ぎに散会しました。

コロナの先が見える中で、鉄道旅を楽しみましょう。(白杉)

### 訃報

ご逝去を心からお悔やみ申し上げ、冥福をお祈りいたします。

- 山口 秀夫 様 (75歳) 令和5年2月15日 ご逝去
- 石原 茂 様 (68歳) 令和5年2月不明 ご逝去
- 片吉 信雄 様 (88歳) 令和5年2月20日 ご逝去